

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

①総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かなところを育むために	②政策名 (基本施策名)	生涯にわたる学習活動を促進する	③取組の 基本方向	「生涯にわたる学習活動を促進する」ため、地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」、地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」、市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に、重点的に取り組みます。	担当課	生涯学習課
						④政策目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	家庭・地域の教育力の向上						①施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)
	H19:基準							H20						
施策目標	それぞれの家庭での教育と連携し、地域をあげて子どもを育成しています。						放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----
施策を取巻く環境	核家族化、少子高齢化の進行、価値観の多様化などを背景に、児童虐待やいじめ、青少年による犯罪の増加などの問題が顕在化し、家庭の教育力の低下が憂慮され、家庭の教育力の向上が求められている。また、地域住民の連帯感の希薄化や子どもを狙った犯罪が増加するなど地域の教育力の低下に対する認識も強く、子育て家庭を社会全体で支援し、地域で子どもを育むため、地域の教育力の向上への取組も必要となっている。							-----	実績値	実績値	実績値	実績値	-----	
②市民の施策満足度	25.2%	④施策の評価	達成度(単年度目標)	●	達成している(90%以上)	概ね達成(70%~90%未満)		-----	700	1,200	2,100	3,200	4,680	64.7%
③市民の施策重要度	70.2%		必要性(住民・社会ニーズ)	●	増加している	横ばい		減少している	92	3,026				
			効率性(事務事業の進捗)	●	十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	-----						
			有効性(政策目標への効果)		十分である	●	やや不十分である	不十分である						
⑤現状分析と課題の抽出							家庭生活対象事業では、昨年度に引き続き実施した親学出前講座が、目標値を大幅に上回った昨年を上回る実績となった。また、放課後子ども教室など地域教育力向上事業についても着実に実施し、概ね目標を達成している。 H19生涯学習・社会教育に関する市民意識調査においても、家庭や地域の教育力の低下の意識が強く、家庭・地域の教育力の向上のための取り組みの必要性はさらに増加している。 PTA連合会や子ども会連合会といった、地域に密着した団体に補助金を交付することで、家庭、学校、地域連携の中心となる活動が期待でき、効率性が高い。 地域や家庭の教育力の向上に貢献できる人材の育成、確保について、全市民的な人材育成機能や研修機能が不足している。							

3 今後の取組方針

①取組の考え方	より一層、家庭・地域の教育力の向上を図るために、地域の指導者となる人材の育成や情報提供等の支援の充実を図り、家庭生活対象事業の強化、宮っ子ステーション事業の実施校区の拡大など、更に事業を推進していく。	➡	②政策評価会議意見	家庭や地域の大人が交流しあい、地域活動に参加し、子どもたちを育みながら、参加した大人たちにも学びがあるような循環的で効果的な地域全体で取り組む事業の推進が必要である。このため、地域や家庭において指導者となる人材の育成・確保について、専門的な人材養成機能の整備に取り組むこと。さらに、企業も含めた地域ぐるみの取り組みを進めるとともに、住民ニーズの高い宮っ子ステーション事業についても一層の充実を図ること。
---------	--	---	-----------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	家庭教育対象事業 担当課 生涯学習課	市内に住んでいる乳児から高校生とその保護者	S24	講座数	20	28	6,069	8,205	A	継続	家庭教育への支援に対する要望は年々著しく高まってきており、また、緊急性も高いものである。従前の事業をさらに充実させ、さらには子育て世代や子育てサポート世代に対する教育や支援も充実させるよう検討していくこと。また、本市家庭教育講座に関わりを持っていない家庭に対する教育・支援についても併せて検討すること。
					24	29					
2	家庭の教育力向上事業の推進 担当課 生涯学習課	主に保護者、未来の親(中学生・高校生)、家庭教育支援団体、企業	H19	親学出前講座実施回数	50	60	8,705	13,435	A	継続	家庭の教育力が低下していると感じている市民の割合が多く、行政が家庭教育支援に取り組むべきことを教育基本法で規定するなど、家庭の教育力向上が強く求められている。そのためには、親自身の教育能力の向上と社会全体で親力向上を支援する体制づくりを、今後も継続して進める必要がある。
					61	86					
3	地域の教育力向上事業の推進 担当課 生涯学習課	地域の大人	H18	地域教育活動支援研修の参加者数	50	180	2,091	1,905	A	継続	地域教育活動の活性化支援を行うとともに、より多くの人が地域教育活動の必要性を感じて活動に携わり、携わった本人にもメリットになるような循環が生まれるよう、より効果的な啓発手法と情報提供の内容について工夫し、事業を継続していくこと。
					71	467					
4	放課後子ども教室推進事業 担当課 生涯学習課	市民(児童及び地域住民)	H19	宮っ子ステーション実施校区数	3	6	1,968	7,569	A	継続	体験活動や異年齢交流は子どもの健全育成に重要であり、また、事業を地域住民が運営することで、地域の教育力の向上が図れるため、施策目標への貢献度は高い。今後についても子どもの家等事業との一体的な実施を目指しながら、宮っ子ステーション事業として更に事業を推進していくこと。
					2	3					
5	子どもの家・留守家庭児童会事業 担当課 生涯学習課	留守家庭児童を中心とした地域の小学生及び乳幼児とその保護者	S41	子どもの家設置力所数	64	66	264,651	285,736	A	継続	地域の実情、ニーズ等を把握しながら将来的に全ての留守家庭児童会を子どもの家へ移行する方針である。また、受入児童数が今後とも増加することが予想され、事業実施による効果が高いこと、さらには、放課後子ども教室との一体的な実施を踏まえながら宮っ子ステーション事業として充実していくこと。
					63	65					
6	子どもの家建設・整備費 担当課 生涯学習課	留守家庭児童を中心とした地域の小学生及び乳幼児とその保護者	S41	年度ごとの子どもの家整備数	3	3	66,009	86,604	A	継続	子どもの家の整備については、これまで利用児童の増加や施設の狭隘度、老朽化、地域ニーズ等を総合的に勘案しながら、計画的な整備に努めており、地域における児童の健全育成の拠点施設として十分な役割を果たしていることから、今後とも引き続き計画的な整備を行っていくこと。
					3	3					
7	宇都宮市PTA連合会補助金 担当課 生涯学習課	宇都宮市PTA連合会が実施する事業	S32	組織率	100	100	1,100	1,100	B	継続	家庭・学校・地域連携の中心となって活動することが期待される。非常に重要性の高い団体であることを踏まえ、今後も行政と連携した取組の充実等の支援を行いながら、本市の家庭と地域の教育力向上のため、補助金を継続すること。
					100	100					
8	宇都宮市子ども会連合会補助金 担当課 生涯学習課	宇都宮市子ども会連合会が実施する事業	S44	子ども会指導者・育成者研修の実施	4	3	1,500	1,370	B	継続	地域に密着して青少年健全育成に取り組む中心となって活動することが期待される。非常に重要性の高い団体であることを踏まえ、今後も行政と連携した取組の充実等の支援を行いながら、本市の地域教育力向上のため、補助金を継続すること。
					4	3					
9	地域教育活動支援補助金 担当課 生涯学習課	地域で子どもの体験活動を企画・運営する団体が実施する事業	H19	補助団体数	5	5	747	750	C	継続	地域の大人たちの力を結集した取組を促進するものであり、地域の教育力向上への貢献度は高い。今後は、より市民が活用しやすい内容へ対象事業の見直しなども検討しながら、本市の地域教育力向上のため、補助金を継続すること。
					5	7					
施策事業費合計							352,840	406,674			